

五大奉仕部門 (標準ロータリークラブ定款 第6条)

奉仕の第一部門	クラブ奉仕	1905年
奉仕の第二部門	職業奉仕	1905年
奉仕の第三部門	社会奉仕	1923~1927年
奉仕の第四部門	国際奉仕	1928年
奉仕の第五部門	青少年奉仕	2010年

- 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

ロータリーのプログラム (ロータリー章典2020.01第41条)

41.010.	インターアクト
41.020.	国際共同委員会
41.030.	新世代交換
41.040.	ローターアクト
41.050.	ロータリー地域社会共同隊 (RCC)
41.060.	ロータリー友情交換
41.070.	ロータリー青少年交換
41.080.	ロータリー青少年指導者育成プログラム

運営費用

- 青少年奉仕は国際ロータリーのプログラムなので、運営費用は参加クラブ、及び、地区資金・地区事業費で負担する。
- 新世代助成金 @2,500 × 2,380人
  - 地区事業費の一部

運営経費

■ インターアクト	@4,000,000
■ ローターアクト	@300,000
■ ロータリー青少年交換	@11,000,000
■ ロータリー青少年指導者育成プログラム	@300,000
■ 日本青少年交換維持協力金	@200 × 2,380人

2020-21年度 青少年奉仕委員会予定事業

- 2020.10.18 地区大会2日目 新世代交流会

※ 参加団体は下記の通り

- ロータリープログラム (インターアクト・ローターアクト・青少年交換学生)
- ロータリー財団プログラム (ロータリー財団奨学生・平和フェロー)
- ロータリー米山奨学プログラム (ロータリー米山奨学生)
- ロータリー学友会  
(インターアクト学友会・ローテックス学友会・ロータリー財団学友会・米山奨学学友会)

青少年保護と危機管理

- 青少年保護と危機管理の観点から、ロータリー関連の活動では、青少年の安全確保が最優先されます。委員会委員とボランティアは全員、ボランティア誓約書の提出をお願いいたします。
- ボランティア誓約書 (別紙参照)

補遺資料C（2015年5月、日本34地区RI再認定版）青少年ボランティア誓約書

第2780地区は、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしています。ロータリー・プログラムや活動に参加する児童や青少年の安全を守り、若い参加者の肉体的、性的、精神的な虐待を防止するよう最善を尽くすことは、すべての、ロータリアン、配偶者、およびその他のボランティアの責務です。

●ボランティア本人の情報

氏名：\_\_\_\_\_住所：\_\_\_\_\_  
現住所での居住年数\_\_\_\_\_（5年間未満の場合は、この書式の裏面に以前の住所を記入してください。）  
政府発行の身分証明（健康保険証や免許証の番号）\_\_\_\_\_  
生年月日（西暦年/月/日）：\_\_\_\_\_

●同意事項

この誓約書および添付書類に記載された情報はすべて、私の知る限り真実かつ正確であり、この誓約書が不利益な影響を与えるような情報を差し控えていないことを保証します。私は、第\_\_\_\_\_区青少年交換プログラムが、暴力犯罪に関わったいかなる個人もボランティアの任務から排除することを理解します。私は、この情報がボランティアとしての適性を判断する目的でも使用されることを理解します。私は、また私がボランティアを務める期間中はいかなる時も再度情報の確認を受ける場合があることを理解します。

●権利放棄（免責事項）

青少年交換プログラムへの採用および参加に鑑みて、私は、法の許す限りで、この誓約書に関連した私の過去の調査の結果、被免責者による過失から起こる可能性も含め、いかなる損失、物的損害、個人の死傷に対する責任についても、私が損害を被った場合または申し立てをした場合、関与しているロータリークラブ、地区、国際ロータリーのすべての会員、役員、理事、委員会委員、職員（被免責者）を免責し、保護しかつ損害を与えないことに同意します。私はまた、国際ロータリー、第\_\_\_\_\_年交換プログラム、およびその関連団体の定める規則、規定、方針に従うことに同意します。  
私は、上記の誓約、同意、免責についての条項を読み、理解し、この書式に任意で署名することを認めます。

申込者署名：\_\_\_\_\_  
（ふりがな）

氏名：\_\_\_\_\_日付：\_\_\_\_\_（西暦）

●その他の情報

自宅電話番号：\_\_\_\_\_Eメール：\_\_\_\_\_  
勤務先電話番号：\_\_\_\_\_FAX：\_\_\_\_\_  
ロータリークラブの会員ですか。 はい いいえ  
「はい」と答えた場合は、クラブ名と入会年を記入してください。  
クラブ名：\_\_\_\_\_RC 入会年：\_\_\_\_\_年

希望する任務：\_\_\_\_\_  
過去にロータリー青少年交換プログラムに関与したことがありますか。 はい いいえ  
「はい」と答えた場合、過去の役職と時期を記入してください。

職務履歴（過去5年間について。必要な場合は別紙を添付してください。）

現在の勤務先：\_\_\_\_\_  
住所：\_\_\_\_\_  
電話：\_\_\_\_\_役職：\_\_\_\_\_  
雇用年月日：\_\_\_\_\_上司の氏名：\_\_\_\_\_

過去の勤務先：\_\_\_\_\_  
住所：\_\_\_\_\_  
電話：\_\_\_\_\_役職：\_\_\_\_\_  
勤務年数：\_\_\_\_\_上司の氏名：\_\_\_\_\_

●青少年に関わるボランティア経験（過去5年間について、必要な場合は別紙を添付してください。）

団体名：\_\_\_\_\_  
住所：\_\_\_\_\_  
電話：\_\_\_\_\_役職：\_\_\_\_\_  
参加期間：\_\_\_\_\_担当責任者：\_\_\_\_\_

それ以前の団体名：\_\_\_\_\_  
住所：\_\_\_\_\_  
電話：\_\_\_\_\_役職：\_\_\_\_\_  
参加期間：\_\_\_\_\_担当責任者：\_\_\_\_\_

●資格および研修

この任務に関連して、どのような資格を持っていますか、または研修を受けた経験がありますか。すべて説明してください。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

●犯罪歴

1. これまでに何らかの犯罪で罪状を認め、または有罪が確定したことはありますか。 はい いいえ

2. 一切の性的、肉体的、あるいは言葉による虐待について、家庭内暴力・迷惑行為差止命令、保護命令など（ただしこれに限らない）、裁判所の命令（民事、家庭、刑事裁判所を含む）を受けたことがありますか。 はい いいえ

「はい」と答えた場合は、その内容を説明してください。それぞれについて、命令を受けた年月日と場所（都道府県と市町村）を明記してください（必要に応じて、別紙を添付してください）。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

●身元保証人（親族以外、ロータリアンまたは元ロータリアンは1名までに限る）

身元保証人は、ボランティアと個人面接し、ホストファミリーの場合は家庭訪問を実施して、ボランティアが学生と共に活動するための RI および地区の資格要件を満たしていること、ならびに、性的虐待あるいはハラスメントを自ら認め、あるいは有罪を宣告され、あるいはそれに関与したことがないことを確認して、ボランティアの身元を保証する。

1. 氏名： \_\_\_\_\_ 署名： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_  
住所： \_\_\_\_\_  
電話： \_\_\_\_\_ 本人との関係： \_\_\_\_\_

2. 氏名： \_\_\_\_\_ 署名： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_  
住所： \_\_\_\_\_  
電話： \_\_\_\_\_ 本人との関係： \_\_\_\_\_

3. 氏名： \_\_\_\_\_ 署名： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_\_  
住所： \_\_\_\_\_  
電話： \_\_\_\_\_ 本人との関係： \_\_\_\_\_

地区使用欄

（個人情報の利用目的）：

地区とクラブは、本誓約書により取得する個人情報を青少年交換プログラムの目的に限定して利用します。

（調査・確認）：

地区危機管理委員会によって調査・確認をします。

確認者： \_\_\_\_\_

日付： \_\_\_\_\_

（保管）：

この誓約書は地区で保管します。

（原本で5年保存、電子データで永久保存）

## インターアクト



### 第2780地区インターアクトクラブ一覧

設立順No.	インターアクトクラブ	設立年月日	提唱クラブ
1	明德学園相洋高等学校	1965-01-30	小田原RC
2	立花学園高等学校	1966-10-20	小田原北RC
3	逗子開成中学校・高等学校	1987-06-20	逗子RC
4	県立麻溝台高等学校	1989-05-14	相模原西RC
5	光明学園相模原高等学校	1991-05-14	相模原中RC
6	平塚学園高等学校	1992-06-24	平塚RC・平塚南RC
7	県立弥栄高等学校	1997-06-11	相模原グリーンRC
8	県立厚木商業高等学校	2003-07-23	厚木中RC
9	鎌倉学園中学校・高等学校	2010-02-13	鎌倉大船RC
10	湘南学園中学校・高等学校	2013-04-24	藤沢RC
11	三浦学苑高等学校	2014-05-12	横須賀RC・横須賀西RC
12	県立鎌倉高等学校	2015-04-01	鎌倉RC
13	北鎌倉女子学園中学校・高等学校	2019-07-01	鎌倉RC

### インターアクト（ロータリー章典2020.01 41.010 抜粋）

- インターアクトは、1962年6月に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。
- 12歳から18歳までの青少年により構成される組織体である。
- その目的は、奉仕、国際理解、指導力育成に寄与する世界的な友好の精神の中で、相共に活動する機会を提供することである。
- クラブのウェブサイトやソーシャルメディアのページなど、すべてのオンライン活動は準拠法および規制に従って運営されるものとする。提唱クラブは、必要に応じて、インターアクトへの参加の前にインターアクターの両親または法的保護者から書面による同意を得るものとする。
- 二つまたはそれ以上のインターアクトクラブを有する地区は、その会員の中から地区インターアクト代表1名を選挙することができる。

### クラブの設立



#### ※ 参考資料

- （左画像）インターアクト提唱クラブとアドバイザー向けのガイド
- インターアクトクラブ認定フォーム
- 標準インターアクトクラブ定款
- 推奨インターアクトクラブ細則  
(My Rotary からダウンロード可)

### クラブの情報を報告する

- 提唱ロータリークラブは、国際ロータリーから資料や情報を受け取り、クラブが活動中であることを知らせるために、毎年、My ROTARYからアドバイザーの連絡先情報を報告／更新する義務があります。

2020-21年度 インター・ローターアクト委員会予定事業（インターアクト）

- 委員会・アクターズミーティング 毎月第2土曜日午後開催
- 2020.10.18 新世代交流会
- 2020.11.23 I A年次大会（ホスト：県立厚木商業高等学校）
- 2020.12. 海外研修
- 2021.03.27～28 一泊研修

インターアクト学友会

- 第2780地区学友会
  - ロータリー財団学友会
  - ローテックス学友会
  - インターアクト学友会
  - 米山学友会
- インターアクト学友会は、インターアクト活動のサポートをしています。
  - アクターズミーティングの運営お手伝い
  - アクターズミーティング内での学友会の時間
  - 地区大会新世代交流会への参加
  - 海外研実行委員会へのアドバイス・同行
  - 一泊研修実行委員会へのアドバイス・同行
- インターアクトのOB/OGが在籍しています。
- 対象年齢は18歳～22歳

## ローターアクト



### 第2780地区ローターアクトクラブ一覧

設立順No.	ローターアクトクラブ	設立年月日	提唱クラブ
1	相模原	1970-06-03	相模原RC
2	鎌倉	1972-11-01	鎌倉RC
3	横須賀	1976-06-11	横須賀RC
4	小田原城北	1995-04-25	小田原城北RC
5	厚木中	2018-06-30	厚木中RC

### ローターアクト（ロータリー章典2020.01 41.040 抜粋）

- ローターアクトは、1968年に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。
- 18歳から30歳までの青年により構成される組織体である。
- その目的は、青年が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を修得し、それぞれの地域社会における物質的あるいは社会的なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進する機会を提供することにある。
- 会員が31歳になった時点でローターアクト会員身分が終結する。
- 二つまたはそれ以上のローターアクトクラブを有する地区は、その会員の中から地区ローターアクト代表1名を選挙しなければならない。

### ローターアクトの方針に関する最近の変更について（抜粋）

- 2019年規定審議会は、国際ロータリーの組織規定を改正し、その結果、ローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブに含まれることとなりました。
  - 2022年7月1日より、ローターアクトクラブは国際ロータリーに人頭分担金の支払いを開始する。人頭分担金（年額）は、大学を基盤とするローターアクトクラブの場合は一人当たり5ドル、地域社会を基盤とするローターアクトクラブの場合は一人当たり8ドルとなる。
  - ローターアクトクラブは、年齢制限を設定できるが、これは義務ではない。設定する場合、クラブは（クラブ細則に従い）、会員およびスポンサークラブ（該当する場合）からの承認を得る。
  - 「ロータリー章典」への変更事項（2020年7月1日から有効）
    - ローターアクトクラブは、スポンサークラブ（提唱クラブ）の有無に関わらず新しいクラブを設立できるようになります。
    - ローターアクトクラブは、ほかのローターアクトクラブをスポンサークラブとして選ぶことができるようになります。
    - ローターアクトクラブには、18歳以上のすべての若い成人が入会できるようになります。
    - ローターアクトに関する方針は、第5章「プログラム」の部分から移され、改訂後の第2章「クラブ」の部分に記載されます。
    - 方針に関する変更事項に基づき、「標準ローターアクトクラブ定款」ならびに「推奨ローターアクトクラブ細則」が改定されます。
    - すべての地区委員会にローターアクターを加えることがロータリー地区に奨励されます。
- ※ RD2780では、別途「申し合わせ事項」を設けて、変更前のロータリー章典を使用する（案）

## クラブの設立・運営



### ※ 参考資料

- (左画像) ローターアクト・ハンドブック
- ローターアクトクラブ 〓認定フォーム
- 持続可能性のための6つのステップ 〓
- プロジェクトのライフサイクルキット
- 世界ローターアクト週間記念状
- 地区を成功に導くリーダーシップ：委員長編
- 地区ローターアクト代表の手引き
- ローターアクトクラブ 〓/インターアクトクラブ 〓情報の更新方法
- ローターアクト多地区合同情報組織  
(My Rotary からダウンロード可)

## 2020-21年度 インター・ローターアクト委員会予定事業 (ローターアクト)

- 委員会・アクターズミーティング 毎月第2土曜日午後開催 オブザーバー参加
- 2020.10.18 新世代交流会
- 2021.01.31 RA年次大会

## 青少年交換

rotary  
youth  
exchange



### ロータリー青少年交換（ロータリー章典2020.01 41.070 抜粋）

- ロータリー青少年交換は、1974年に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。
- ロータリー青少年交換プログラムは、海外の人々と交流し、外国での生活を通じて異文化を体験する機会を青少年に提供する。異文化出身の学生との交流を通じて、受入クラブ、ホストファミリー、そして地域社会が豊かになる。このプログラムは、青少年の国際理解と親善の精神を育み、平和の構築と維持に不可欠な異文化理解能力の養成に役立つものである。
- 各ガバナーは、地区内の青少年交換プログラムの監督と管理に対し責任を負う。地区の青少年交換役員または委員会は、ガバナーの監督下に置かれ、ガバナーに報告を行うべきである。
- 事務総長は、地区認定プログラムを管理するものとする。認定を受けるためには、地区の全青少年交換プログラムは、RIの青少年保護方針、および事務総長によって定められたその他の要件を順守するものとする。青少年交換プログラムに参加するには、受入地区と派遣地区の両方が、事務総長から認定を受けなければならない。
- 地区は、地区青少年交換プログラムを含む法人組織または同様の正式な法的組織を設立しなければならない。地区はまた、多地区合同プログラムの範囲内で実施される地区活動のために法人化された多地区合同青少年交換プログラムに加入することによって、この要件を満たすこともできる。
- 事故、死亡、早期帰国、犯罪、虐待やハラスメント（嫌がらせ）の申し立てなど（ただしこれに限るものではない）、すべての事態は、この事態の報告を受けてから72時間以内に、RIに報告するものとする。72時間以内のRIへの事態報告を怠った場合、地区の青少年交換への参加資格の停止、または順守不履行について事務総長により決定されたその他の措置が実施される場合がある。RI理事会は、個人、クラブ、地区が、適時の報告を故意に行わなかったことを知った場合、クラブを終結させる場合がある。
- 青少年交換プログラムの参加者は、交換の開始時に年齢15～19歳の学生を対象とする。ただし、特定の国における法律および規制がこれを認めない場合は、この限りではない。18歳以上の学生は、参加クラブと地区が相互に合意した場合は参加することができる。
- 青少年交換は、プログラムの資格要件を満たし、クラブまたは地区により推薦された青少年であれば、誰でも参加することができる。参加者は、学業成績が平均以上であるべきである。
- 学生は、受入先地域において、ロータリーの価値、超我の奉仕に献身を反映し、さらに平和構築者として、自己、母国、そしてロータリーを代表しなければならない。相手を尊重し、責任を持って行動し、プログラムならびに世界のロータリーを代表する者としての自分の役割に相応しくあるべきである。
- 青少年交換に関与する個人全員を慎重に選考する手続きは最も重要であり、細心の注意と配慮をもって行われるべきである。
- 本プログラムに関与するすべての成人（ロータリアンおよびロータリアン以外）、すなわち委員、ホストファミリー、クラブのカウンセラー、その他の人々（ただしこれらの人々に限らない）は、プログラム運営、規定、および虐待とハラスメントの認識と予防に関する情報を含む研修を受けなければならない。
- 地区とクラブは、ROTEXなどの青少年交換学友グループを設立し、公式のロータリー学友会として認証を受けるよう奨励されている。



#### 参考資料



※ 参考資料

- (左画像) 青少年交換ハンドブック
- ローター青少年交換 参加認定書  
(My Rotary からダウンロード可)

#### 2020-21年度 青少年交換委員会予定事業

※ 別紙.pptx参照

#### 2020-21年度国際ロータリー会長 ホルガー・クナークさん メッセージ抜粋

- 次年度に地区での交換を休止する場合、または交換の数を著しく減らす場合には、その時間を地区での青少年交換プログラムの強化に充てていただけることを願っております。
  - 青少年保護の取り組みを強化：地区が使用しているボランティアと学生用の研修資料を見直し、地区での方針と手続きを再検討し、専門家と相談して危機管理プランの更新・改善を行ってください。
  - 地区委員会を強化：地区の青少年交換委員会の結束と活動が、かつてないほど重要になっています。次年度以降もダイナミックな委員会を維持するために、引継ぎ計画を立ててください。
  - 学友とのつながりを強化：帰国した学生、特にコロナウイルスの影響で早期帰国した学生に連絡してください。関係を培い、ロータリーファミリーとのつながりを深めてもらうことに力を入れることで、留学が終わった後にも学生が意義ある経験を続けていくことができます。

# 青少年交換プログラム (YEP)

## アジェンダ :

1. RI第2780地区青少年交換プログラム
2. 青少年交換委員会の役割
3. ROTEXの役割
4. 各グループ及びホストクラブの役割
5. 交換学生に関するルール
6. 費用負担について
7. 主な年間行事予定
8. 2020-21年度青少年交換プログラムについて
9. 今後の委員会運営

# 1. RI第2780地区青少年交換プログラム

国際ロータリー青少年交換プログラム(YEP)は、1972年の国際ロータリー理事会に於いて世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動として正式に推奨され、**RI**本部に常設委員会を持つ重要なプログラムとして、世界中に広まり今日に至っています。

**YEPは、地区独自の事業ではなく、国際ロータリーの継続事業。**

**この青少年交換プログラムは、世界中のロータリアンが青少年に今までに体験したことのないような体験をさせてあげたとの思いを形にした事業です。**

# 1. RI第2780地区青少年交換プログラム

## 目的と使命

このプログラムは、語学研修だけでなく派遣先の文化や習慣・伝統・歴史に触れると同時に日本の文化や習慣を広め相互理解を図り、世界平和への貢献を目的としています。

派遣生に課せられた使命は、青少年親善大使として日本と派遣国との間に「友情の架け橋」を築き、外国を知るだけでなく、日本の文化や習慣を紹介して理解を得ることです。

## 第2780地区青少年交換

当地区の青少年交換事業は、第259地区時代の1983年より青少年交換事業を盛んに行い、そして1989年の第278地区創立時にはアメリカ・カナダ・オーストラリア等の英語圏と6人の青少年交換が始まりました。のちにブラジルが加わり、そしてヨーロッパ諸国や台湾とも交換を行うようになり前年度からはハンガリー次年度からデンマークと今日に至っています。

# 1. RI第2780地区青少年交換プログラム

青少年交換プログラム(YEP)には毎年、世界の150カ国約8000人の青少年が参加し、今年度日本から25カ国180人の交換学生が派遣され、同時に海外から180人の学生が来日しています。

## 交換国

今年度は、**カナダ、メキシコ、ブラジル、イタリア、フランス、ドイツ、ハンガリー、台湾、デンマークの9か国**へ9名を派遣し、同じく9名を迎え入れ、各グループに1名の来日学生のお世話をお願いしています。

この様な多様性のある学生交換は、当地区の特色であり、国内他の地区では行なわれていないことです。

## 2. 青少年交換委員会の役割

**このYEPが安全にかつ円滑に進行するよう様々な活動を行なっています。**

- 交換相手地区(国)の選定。 政治不安や治安を考慮した上での決定と正式契約の締結。
- 派遣学生の相手地区・国への申請書(Application Form)の作成指導、確認と提出。
- 派遣学生に対し、研修を通して青少年親善大使としての心得や気構えの教育と精神的サポート。
- 来日学生・派遣学生に対する毎月のオリエンテーション、研修旅行等
- 留学期間中の来日・派遣学生の危機管理への対応、健康管理、サポート。
- ホストクラブ・スポンサークラブへのサポート、各グループから出向の委員が担当。
- 国際ロータリーから発信される新たなルールの伝達と広報。

## 3. ROTEXの役割

**ROTEXは、当地区から派遣された青少年交換学生のOB/OGからなる組織です。**

ROTEXの精力的な協力があるおかげでYEPが成り立っていると言っても過言ではありません。

主な活動は、毎月のオリエンテーション前の懇談会を通して来日・派遣学生への語学指導や生活や学業に対するアドバイスやROTEX主催の小田原散策やスポーツ大会などです。

### 2019京都研修旅行



## 4. 各グループ及びホストクラブの役割

**ホストクラブ：各グループに1名の来日学生の受入れをお願いしています。ホストクラブの決定は、一部のグループを除いて大半のグループが輪番制になっています。**

- ① ホストクラブ・カウンセラーの選任。(1人)
- ② ホストファミリーの複数確保。(3か月毎のホストチェンジが望ましい)
- ③ 来日学生受入れ高校の確保とカリキュラムの確認。
- ④ 地区からの助成金とグループ単位で徴収する人頭支援金の管理と運営。
- ⑤ 委員会主催のオリエンテーションへの参加、来日学生は出席が義務。
- ⑥ 次年度ホストクラブへの連絡(引き継ぎ)や準備作業の支援。



## 5. 交換学生に関するルール

- ① 留学期間(11か月以上・一年未満)高校生として相手地区の高校に通学すること。
- ② 派遣元(地区)の学力試験・面接に合格し、地区ガバナー・委員会が認めた学生であること。
- ③ 保護者共、青少年交換プログラムやロータリーについて理解をしていること。
- ④ 4Dルール (**No Driving・No Drinking・No Dating・No Drug**) を理解し遵守すること。

※留学途中であっても、**ルールや法律に違反した場合は、強制送還**とします。 また病気や怪我を負った場合、相手地区や両親と協議の上、留学を中止する場合があります。  
学生の都合での早期帰国は禁止されています。

## 6. 費用負担について

毎年度、ホストクラブに対し地区より半期ごと45万円X2回・計90万円  
(9月・2月) 助成金を支給します。

助成金は学校への学費、教材費、制服代、ホストファミリーへの食費補助・謝礼金、学生へのお小遣い10,000円/月、通学交通費、携帯電話(3,000円)、オリエンテーション参加のための交通費などに使います。

年間90万円では足りないため、近年ではホストクラブの負担を軽減する目的で各グループが人頭分担支援金を拠出する方法を取っています。

このグループ人頭分担支援金の徴収と管理は、各グループ ガバナー補佐にお願いしています。

一方学生側の負担は、往復の航空運賃、各国指定の留学(旅行)保険(12万程度)、ブレザー購入費、研修旅行費、その他衣料等の物品費となります。

## 7. 主な年間行事予定

**青少年交換委員会では学生研修のため、1年を通して様々なプログラムを組んでいます。**

- 委員会主催の毎月のオリエンテーション・京都研修旅行・逗子海岸花火大会鑑賞・歌舞伎鑑賞・一泊送別会farewell trip等。
- 他にROTEX主催のボーリング大会・小田原散策・茶道教室・着付け教室などがあります。

## 8. 2020-21年度青少年交換プログラムについて

2020-2021 年度青少年交換プログラムについて、当地区としては、派遣国と安全に交換ができるようになってから交換を始めたいという方針をたて現在まで動いておりましたが、世界中で未だ新型コロナウイルス感染者が増えている状況の中、派遣学生、来日学生そして本プログラムにご協力いただくロータリアン、学校関係者、地域の方々の安全と健康を第一に考えました結果、**2020-21 年度の青少年交換プログラムを残念ながら「中止」とさせていただきます。**

2020-21派遣候補生に関しましては2021-22の派遣を希望すればそのままスライドして派遣する予定。

従来行なっていた8月の合同説明会等の募集に関しては未定

## 9. 今後の委員会運営

- 新型コロナウイルス感染拡大が世界中に広がる中、青少年交換プログラムにおいて学生の身の安全を第一に考え、危機管理への対応策の充実が今後の課題と考えています。
- 有事の場合の緊急連絡や安否確認を委員会が速やかに出来るようにするため、今後一層の連絡網の充実) を用意いたします。  
(SNS(messenger)でOBS/IBS の各グループ)
- 今後の対応 (派遣学生・派遣地区) につままして、ご心配やご質問が多々あることと存じますが、当地区としては次々年度の青少年交換プログラム再開に向けて努力を続けて参ります。  
ご理解とご協力の程何卒よろしくお願い致します。

## 10. 最後に

次年度は中止と言う事になり大変残念ですが

この青少年交換は、**ロータリアンの子弟が挑戦できる  
唯一のプログラム**です。

次々年度以降、皆さんのお子さんやお孫さんには是非、  
挑戦して頂きたいと思います。

皆様のさらなるご理解とご協力をお願い致します。

青少年交換委員会委員長 棕梨兼彰

## RYLA



### ロータリー青少年指導者養成プログラム（ロータリー章典2020.01 41.080 抜粋）

- ロータリー青少年指導者養成プログラムは、「RYLA」としても知られており、1971年に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムである。
- RYLAプログラムは、異なる成熟度のレベルとプログラムのニーズに合わせるために、14歳以上の子供および成人の異なる年齢層を対象とする。
- ロータリー青少年指導者養成（RYLA）プログラムは、地域社会の若い人々の指導力および善良な市民としての資質や個人および職業人としての能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる機会を設ける。
- ロータリー青少年指導者養成プログラムの目標は次の通りである。
  - ロータリーが若者を尊重し、かつ、若者に関心を抱いていることを一層明らかにすること。
  - 選ばれた若いリーダー、およびリーダーとなる素質のある若者に研修を経験させ、責任ある有能なボランティアの若いリーダーとなるよう激励し、援助すること。
  - 若者による若者への絶えざる、力強いリーダーシップを奨励すること。
  - 若者のリーダーとして地域社会に尽くしている多くの若い人の優れた資質を公に認めること。
- すべてのRYLAプログラムは、以下の主題を含む中心的カリキュラムを含むべきである。
  - リーダーシップ（指導力）の基礎
  - 良きリーダーの倫理
  - 効果的なリーダーシップにおけるコミュニケーション（伝達力）の重要性
  - 問題解決と対立管理
  - ロータリーとは何か、ロータリーは地域社会のために何をしているか
  - 自信と自尊心を培うこと
  - 地域市民、世界市民となるための要素
  - 上記に併せ、地元と関連があり、地元の慣習にふさわしい方法で取り組まれている問題を考察すること。
- RYLAに関わりのあるロータリアンは、次のことを行うよう奨励されている：
  - 他団体からの候補者、ならびに社会的、経済的に恵まれないがリーダーとしての資質を備えた若者を含め、リーダーシップ育成の機会になかなか恵まれない者をRYLAプログラムに招待する。
  - RYLAプログラムの参加者がこれからの活動にも引き続き関わるよう、今後のRYLA活動の企画に参加させ、ロータリー学友として参加するよう奨励す。
- RYLAセミナーは、RYLAに関与するロータリアン同士の情報交換を促進し、効果的なRYLAプログラムについて、地区RYLA委員長、地区RYLA委員、およびRYLAに関心のあるロータリアン同士で情報を共有するため、地区およびゾーンで実施すべきである。

#### 参考資料①



**RYLA**

ロータリー青少年  
指導者養成プログラム



※ 参考資料

- (左画像) RYLAの手引き
- RYLA認定証  
(My Rotary からダウンロード可)

#### 参考資料②アイデアに富んだRYLAを計画する (My Rotaryより抜粋)

- 元RYLA参加者、保護者、教師、地域社会のリーダーに連絡し、変化し続ける社会にふさわしいRYLAプログラムの実施方法について意見を聞く。
- 若いリーダーの育成を重視する。これらのリーダーが多様性を尊重し、持続可能な変化をもたらし、奉仕の精神に満ちた世界市民となるよう取り組む。
- 異なる年齢層の若者に、さまざまな形態のRYLAプログラムを提供する。
- リーダーシップ研修に付随して、争いの解決方法についての研修も提供する。
- 専門的能力の開発を重視し、ロータリーを通じて地域社会に奉仕する機会を提供する。
- リーダーシップの育成と職業研修を同時に行い、若者が自分の能力を発見してスキルを磨けるよう支援する。
- 支援の行き届いていない地域の若者の参加を促し、これらの若者が地元に変化をもたらす活動家となれるよう支援する。
- 身体的・知的障害のある人びとも参加できるRYLAを実施するために、地元の専門家に協力を求める。

2020-21年度 R Y L A 委員会予定事業

※ 別紙.docx参照



## RYLA委員会 方針・概要・予定

当地区においてRYLA（ロータリー青少年指導者育成プログラム）を耳にする事が無くなり約15年が経ちます。以前は各クラブ持ち回りで行なわれていた研修ですが、今年度から新たに委員会が立ち上がり地区委員会主導でRYLAを行ないます。そう言っている私はRYLAを経験・体験・参加した事はありません。だから今までの固定観念にとらわれる事が無い参加して良かったと言われるプログラムを今はまだコロナの影響で開催されていない委員会で考えて行きたい思います。

さてRYLAは年齢14歳～30歳の若者を対象にスキルと人格を養いながら、奉仕・高い道徳基準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供する事を目的としています。今年度はまだ手探りの状況ですが一泊二日での研修を行なう予定です。

RYLAの特徴は

※リーダーシップのスキルと人格を養う

※多様な事柄について学び様々な人と出会う

※地域社会で積極的に活動するリーダーと会う

※貴重な情報とキャリアのスキルを身につける

これらを念頭にロータリアンに出来る事を考えながら青少年の育成に一年間努力してまいります。皆様方のご協力切にお願いいたします。

委員会開催日 毎月1回

実施日 2021年5月29・30日

実施場所 未定

2020-21 RD2780 RYLA 委員長  
清水 寿人（相模原柴胡RC）